

第16回東アジア首脳会議（EAS）

議長声明（和文概要）

（2021年10月27日）

- 平和、安定、自由及び繁栄に貢献するために、より広いアジア太平洋及びインド洋地域に関与するためのガイドとして機能する、インド太平洋に関するASEANアウトルック（AOIP）をASEANが重視することを認識。ASEAN加盟国は、ASEAN以外のEAS参加国が、マニラ行動計画に定められている優先分野において、ASEANと実践的な協力を更に発展させることを歓迎。（パラグラフ3）
- 多国間主義の強化、ASEAN中心の地域枠組の維持、ルールに基づくアプローチへの貢献、戦略的な信頼の促進における国際法に従った地域の国家間の関係の管理多国間主義の強化におけるEASの重要な役割を強調。（パラグラフ4）

【協力分野】

（環境及びエネルギー）

- 新型コロナの感染拡大からの持続可能な回復の重要性を認識。これは、経済成長を支援し、気候変動対策、生物多様性の保全における継続的な取組を加速し、SDGs 2030の実現を促進するもの。経済回復及び持続可能な成長を確保するため、増産を含め十分な原油供給を通じた国際原油市場の安定性を要請す。パリ協定の完全な実施への支持を表明。（パラグラフ7）
- 水素、カーボンリサイクル、二酸化炭素回収・利用・貯留（CCUS）を含む、革新的な技術と低炭素社会の推進に関するEAS地域のエネルギー転換に貢献するイニシアティブを心待ちにする。EAS中期エネルギー政策研究ロードマップ2019～2021の実施における、東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）の継続的な貢献に感謝。（パラグラフ8）

（教育）

- 包摂的で生涯的なスキル構築及びデジタルリテラシーを確保するための協力の推進並びに、EASの行動計画及びASEAN教育作業計画2021-2025に基づく、関連する行動方針の調整と補完を通じて、相互に有益な教育協力を奨励。（パラグラフ9）

(金融)

- 特に新型コロナを背景に、マクロ経済及び金融の安定性の確保、リスク及び脆弱性の一貫した監視、地域における金融協力の継続並びに、国際金融機関との協力の強化を通じて、外部からのショックに対する地域の金融の強靭性を強化することの重要性を強調。(パラグラフ10)

(国際保健及び感染症)

- 地域の個人、家族、コミュニティ及び経済における新型コロナの壊滅的な影響に対処し、回復する上での多国間協力の重要性を再確認。効果的で、安全で、手頃な抗ウイルス薬と新型コロナワクチンの配布、ウイルスの拡散を抑制するための公平なアクセスの確保、ワクチンの研究開発並びに、医療及び公衆衛生能力の強化における協力を優先する必要性を改めて表明。ASEANは、COVAX AMCの枠組みを通じて提供された支援及びASEANへの多国間の貢献に対して、EAS参加国に感謝を表明。ワクチンの生産と流通に関する地域協力を含むがこれに限定されない、ワクチンの安全保障と自立を達成するためのASEANの取組に対するASEAN以外のEAS参加国からのより大きな支援に期待。(パラグラフ11)
- 新型コロナの世界的な広がりを封じ込め、将来の健康危機に備えるために必須であり、誰も置き去りにしないことを目的とした、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)を達成するための取組を強化する必要性を改めて表明。(パラグラフ12)

(災害管理)

- 災害管理、緊急対応及び社会経済開発への混乱に対処することに関する地域の能力を支援することにおいて、気候変動への適応及び災害への強靭性を取り入れることにより、災害管理におけるより緊密な協力を促進する必要性を強調。AADMER作業計画(2021-2025)の優先プログラムの実施を支援し、AADMERの主要な運用上のエンジンとして、また、自然災害の災害管理と緊急対応に関するASEANの主要な地域調整機関として、ASEAN防災人道支援調整センター(AHAセンター)の能力を強化するというコミットメントを再確認。(パラグラフ15)

(ASEAN連結性)

- 地域の貿易、投資及びサービスの競争力を促進し、新型コロナからの社会

経済の回復を支援するために、連結性を促進することの重要性を再確認。地域内外の様々な連結性戦略間のより大きなシナジーを促進し続けることの重要性を認識。(パラグラフ17)

(経済協力及び貿易)

- 新型コロナの影響に立ち向かい、全ての人々ための強力な経済回復を可能にする上で、貿易と投資の不可欠な役割を強調。特に、危機的な時期に公衆衛生と経済的な対応を支援する上で最も重要なものについて、商品やサービスの流れを促進するための協力の重要性を強調。貿易と投資を促進し、観光及観光関連の部門を回復し、安全で強靱かつ安定的なサプライチェーンを構築し、支援的な財政政策措置及び金融政策を維持し、強力なマクロ経済の原則及び予測可能なビジネス環境を確保することにより、地域におけるより強力で持続可能な経済成長を促進するという共通の目標にコミットする。(パラグラフ20)
- WTOを中心とするルールに基づく多国間貿易システムを通じて、市場を開放的、自由、公正、透明、予測可能、非差別かつ競争力のあるものに保つというコミットメントを再確認。WTOの有効性を改善するためにWTOを改革する必要性を認識。RCEPの参加国は、2020年11月15日に開催された第4回RCEPサミットで、地域包括的経済連携協定(RCEP)の交渉締結と署名を認識。(パラグラフ21)
- 地域の経済統合とデジタル経済を支援する主要な地域経済問題に関する継続的な調査と分析について、ERIAを称賛。(パラグラフ23)
- 強靱性があり、革新的で、うまくつながったスマートシティのネットワークを構築する上で、ASEANスマートシティネットワーク(ASCN)を発展させるための更なる努力を歓迎し、奨励。(パラグラフ24)

(食料安全保障)

- 食料安全保障に関する第8回EAS宣言を実施するというコミットメントを再確認し、食料と栄養の安全保障をさらに強化することの重要性を改めて表明。(パラグラフ25)

(海洋協力)

- 国連総会(UNGA)決議A/RES/75/239は、前文で、1982年

の海洋法に関する国際連合条約（UNCLOS）の普遍的で統一された性格を強調し、それを再確認。UNCLOSは、海及び海洋における全ての活動が実施されなければならない法的枠組みを定めており、海洋部門における国、地域・世界的な行動及び協力の基礎として戦略的に重要であり、その完全性を維持する必要があることを再確認。EAS参加国間の海洋協力を強化することへの支持を表明。また、ASEAN地域フォーラム（ARF）、拡大ASEAN国防相会議（ADMMプラス）、拡大ASEAN海洋フォーラム（EAMF）等の他のASEAN主導のメカニズムとの海洋協力におけるシナジーを強化する必要性を強調。（パラグラフ26）

- UNCLOSを含む国際法に従い、共通の課題に対処するための対話とASEAN主導のメカニズムの最適化を通じて、海洋の持続性及び経済発展、生物多様性、生態系及び資源を含む海洋と沿岸環境の保護及び保全に関する協力の促進、生計を海洋に依存している人々の有害な活動や陸地及び海洋での汚染などの他の脅威からの保護並びに、違法・無報告・無規制（IUU）漁業との闘いにおける協力の推進の重要性を改めて表明。（パラグラフ27）

（その他）

- 情報通信技術（ICT）とその使用におけるセキュリティの重要性の高まりについて議論。平和、安全、透明、オープン、安定、アクセス可能、相互運用可能及び協調的なICT環境を促進し、紛争や危機につながる誤解、誤算及び緊張の高まりのリスクを防止するための協力を強化する必要性を再確認。（パラグラフ28）

【地域及び国際情勢】

（ミャンマー）

- ミャンマーにおける最近の情勢について議論し、死者数や暴力に関する報告を含め、ミャンマーの状況について懸念を表明。EAS参加国の一部から、外国人を含む政治的理由に基づく被拘束者の解放の要求がなされた。ミャンマーに対し2021年4月24日のASEANリーダーズ・ミーティングの「5つのコンセンサス」へのコミットメントを受け入れ、履行するよう求めた。また、ミャンマーに対しミャンマーにおける暴力の即時停止及び全ての当事者による最大の自制、人々の利益に即した平和的解決の追求のための全ての当事者間の建設的対話、ASEAN事務総長の支援を得たASEAN議長の特使による対話プロセスの仲介、ASEAN防災人道支援調整センター

(AHAセンター)を通じたASEANによる人道支援の提供、特使及び代表团による全ての当事者との会合のためのミャンマー訪問といった「5つのコンセンサス」の時宜を得た完全な履行を求めた。ミャンマーに関するASEAN議長の特使による努力を歓迎するとともに、全ての当事者への完全なアクセスを得た上での信頼及び信用を醸成するための特使によるミャンマー訪問の促進によるものを含め、ミャンマーにおける全ての関係者に対して、「5つのコンセンサス」を迅速かつ完全に履行するよう求めた。AHAセンターを通じて、ミャンマーの人々に人道支援を提供することを歓迎。ASEANは、「5つのコンセンサス」の迅速かつ完全な履行におけるASEANの取組及び、この観点における、ミャンマーの人々への人道的な支援を提供する上でのASEANの取組に対して、ASEAN以外のEAS参加国を含む域外パートナー国からの継続的な支援を歓迎。(パラグラフ32)

(朝鮮半島)

- 朝鮮半島における完全な非核化及び恒久的な平和の構築の達成における外交及び対話を支持することを再確認。対話を再開し、朝鮮半島の平和プロセスを前進させる上での、過去4年間にわたる全ての当事者による取組を認識。南北間の通信連絡線の復元を歓迎し、それが南北関係の更なる改善と発展に資することに留意。全ての当事者に対し、韓国と北朝鮮の間の2018年の板門店宣言及び平壤共同宣言、並びに米国と北朝鮮の首脳によるシンガポール共同声明の完全かつ迅速な実施を通じたものを含め、朝鮮半島における完全な非核化及び恒久的な平和に向けて、建設的に協働し続けることを求めた。朝鮮半島における平和と安定を維持することの重要性を強調し、南北関係と米朝関係が相互に補強し合う形で前進する好循環を回復するための南北間の対話、関与及び協力の前進に向けた韓国の取組を歓迎。全ての関連する国連安保理決議の完全な履行へのコミットメントを改めて表明。朝鮮半島の完全な、検証可能な、かつ不可逆的な非核化を実現するための国際的な取組の重要性が強調された。ASEAN地域フォーラム(ARF)といったASEANが主導するプラットフォームの活用を通じたものを含め、当事者間の平和的な対話に資する雰囲気のための相互信頼、相互尊重、信頼醸成を促進する必要性を強調。複数のEAS参加国が表明した、拉致問題の即時解決を含む国際社会の人道上の懸念に対処することの重要性に関する見解に留意。(パラグラフ33)

(南シナ海)

- 南シナ海の平和、安全保障、安定、安全並びに航行及び上空飛行の自由を維

持・促進する重要性、及び威嚇や武力行使に訴えることなく、UNCLOSを含む国際法の普遍的に認められた原則に従い、紛争の平和的解決を追求することの重要性を再確認。2002年の南シナ海における行動宣言（DOC）を全体として完全かつ効果的に履行することの重要性を強調。進行中の南シナ海における行動規範（COC）の交渉に留意し、相互に合意したタイムラインの中で、UNCLOSを含む国際法に従った実効的で実質的なCOCの早期妥結に向けた一層の進展を奨励。COC交渉に資する環境を促進する必要性を強調し、そのため、緊張を緩和し、事故、誤解、誤算のリスクを軽減させ得る実践的な措置を歓迎。特に当事者間の信用及び信頼を高めるための信頼醸成と予防措置の実施の重要性を強調。UNCLOSを含む国際法遵守の重要性を再確認。（パラグラフ34）

- 南シナ海の状況について議論し、海洋環境の損害を含め、信用と信頼を損ない、緊張を高め、また、地域における平和、安全及び安定を損ない得る、地域における埋め立て及び活動と深刻な事案について、一部の首脳から懸念が表明された。相互信用と信頼を高め、紛争を複雑化又は悪化させ平和と安定に影響し得る活動に当たって自制し、状況をさらに複雑化させる可能性のある行動を回避する必要性を再確認。UNCLOSを含む国際法の普遍的に認められた原則に従った、紛争の平和的解決を追求する必要性を再確認。DOCで言及された事項を含め、南シナ海における状況を更に複雑化させ、緊張を高め得るクレイマント国やその他全ての国による全ての活動の実施における非軍事化及び自制の重要性を強調。（パラグラフ35）

（暴力的過激主義・急進化・テロ対策）

- ここ数ヶ月における重大な人命の損失と重傷を引き起こしたテロ攻撃を強く非難。国、地域及び準地域レベルでのテロ対策の効果的な実施を通じて、テロ、急進化・テロを助長する暴力的過激主義を防止し、それに対抗するというコミットメントを再確認。（パラグラフ36）

（地域枠組の堅持）

- 地域における平和、安定及び繁栄に貢献するために、より広いアジア太平洋及びインド洋地域におけるASEANの協力のガイドとしてのAOIPの重要性を認識。アウトルックで特定された協力のためのASEANの優先分野、すなわち、海洋協力、連結性、持続可能な開発目標（SDGs）、経済、その他の分野における、既存のASEAN主導のプラットフォームを通じた共通の関心と相互利益のある実践的プロジェクトを通じた関与の促進及び協

カの実施に関する議論に留意。(パラグラフ39)

- 東南アジア平和・自由・中立地帯構想 (ZOPFAN) 宣言及び東南アジア非核兵器地帯条約 (SEANWFZ) に沿って、軍縮・不拡散及び核エネルギーの平和的利用に関する世界的な取組を支持しつつ、東南アジアを核兵器及び他の大量破壊兵器のない地域として維持することに引き続き完全にコミットする。AUKUSについて、一部のEAS参加国により、見解が表明されたことに留意。(パラグラフ40)
- EASの確立された原則、目的及びモダリティ、ASEAN中心性並びにASEAN中心の地域枠組みに基づいて、EASを統合及び強化するコミットメントを再確認。(パラグラフ41)

(了)